

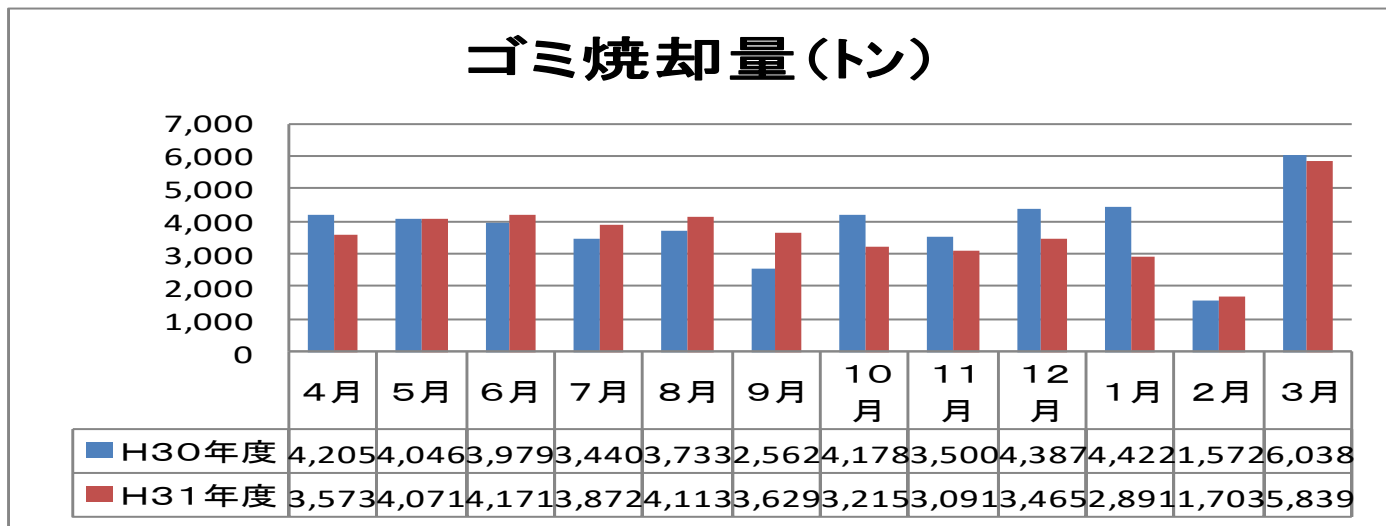
2020年3月度：「ゴミ焼却量」「プラ混入率」「CO₂排出量」

2020-4-30

温暖化防止ながれやま
可燃ごみ減量PJ

春田育男

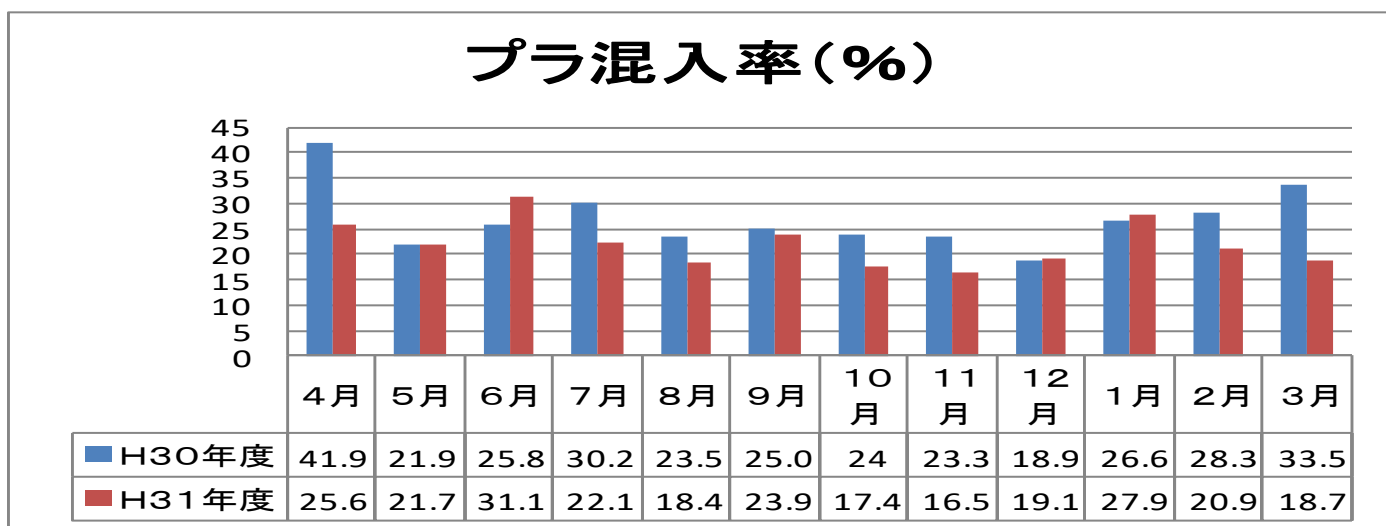
1、 ゴミ焼却量



*2020年3月度のゴミ焼却量は、前年同月度より約3%減少している。

*3月までの累計(43,634 t)は、前年度(46,060 t)に比べ5%減少している。

2、 プラ混入率



*2020年3月度のプラ混入率は、前年同月より44%減少している。

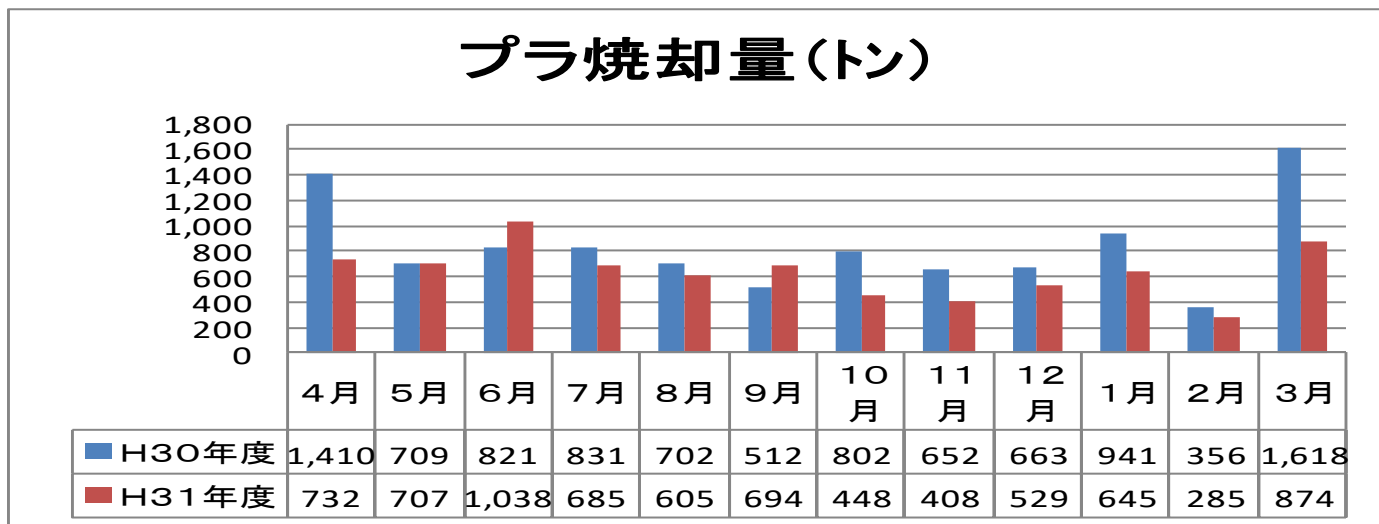
*3月までの平均プラ混入率(21.9%)は、前年度年間平均(26.9%)よりも18%減少している。

*プラ混入率は、年間平均20%以下を目標にしたい。

*8月、10月、11月、12月、3月は20%を下回っている。

3、プラスチック焼却量

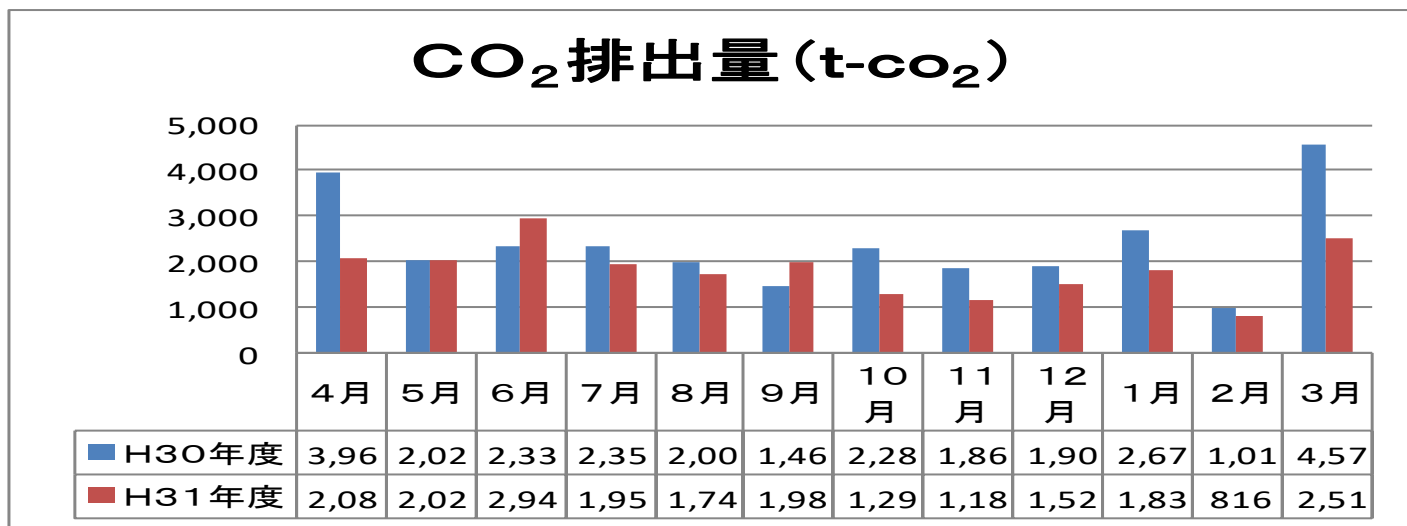
プラスチック焼却量＝ゴミ焼却量×プラ混入率×プラ水分含有率（80％）



*2020年3月のプラ焼却量は、前年同月と比べ46%減少している。

*3月までの累計焼却量（7,649 t）は、前年度（10,018 t）に比べ24%減少している。

4、CO₂排出量（t-CO₂）

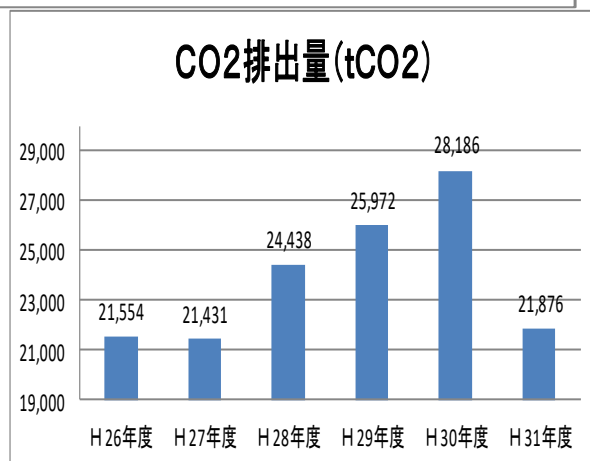


*2020年3月度のCO₂排出量は、前年同月に比べ45%減少している。

*3月までの累計排出量（21,887 t）は、前年度（28,186 t）に比べ22%減少している。

(注) 流山市クリーンセンター全体からのCO₂排出量は、上記数量に下記を加えた値となる。

- ①購入電力量に伴うCO₂排出量
- ②燃料（灯油、LPG、軽油など）使用量に伴うCO₂排出量



H31年度は3月現在

拡大は次ページ

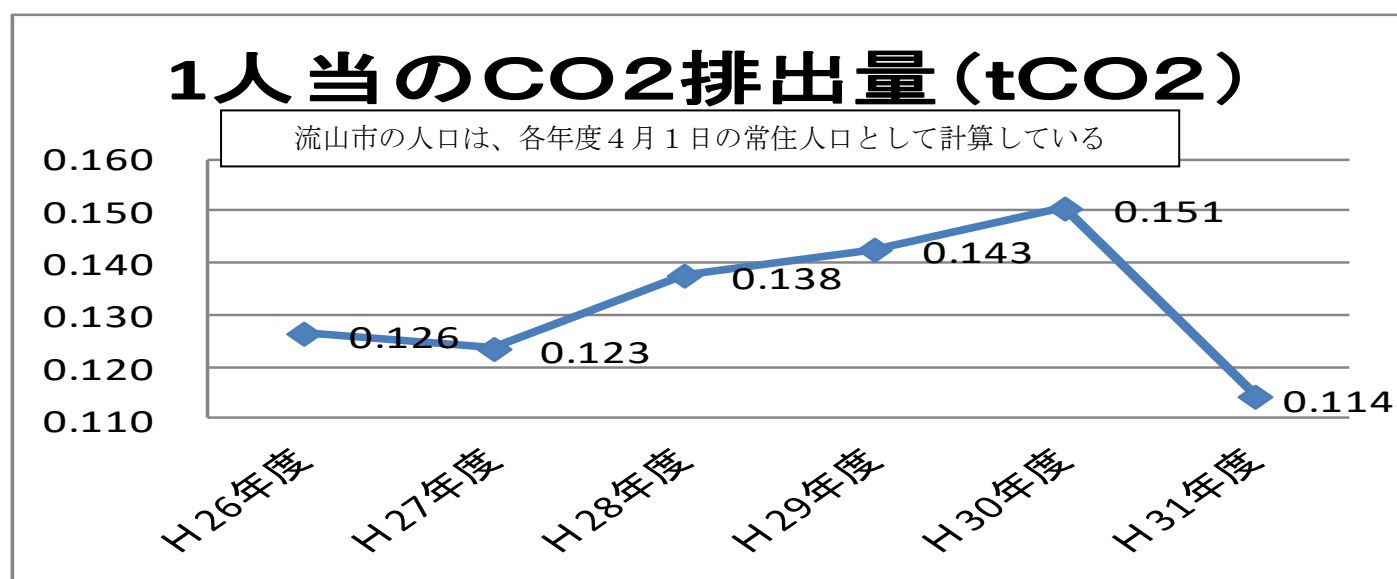
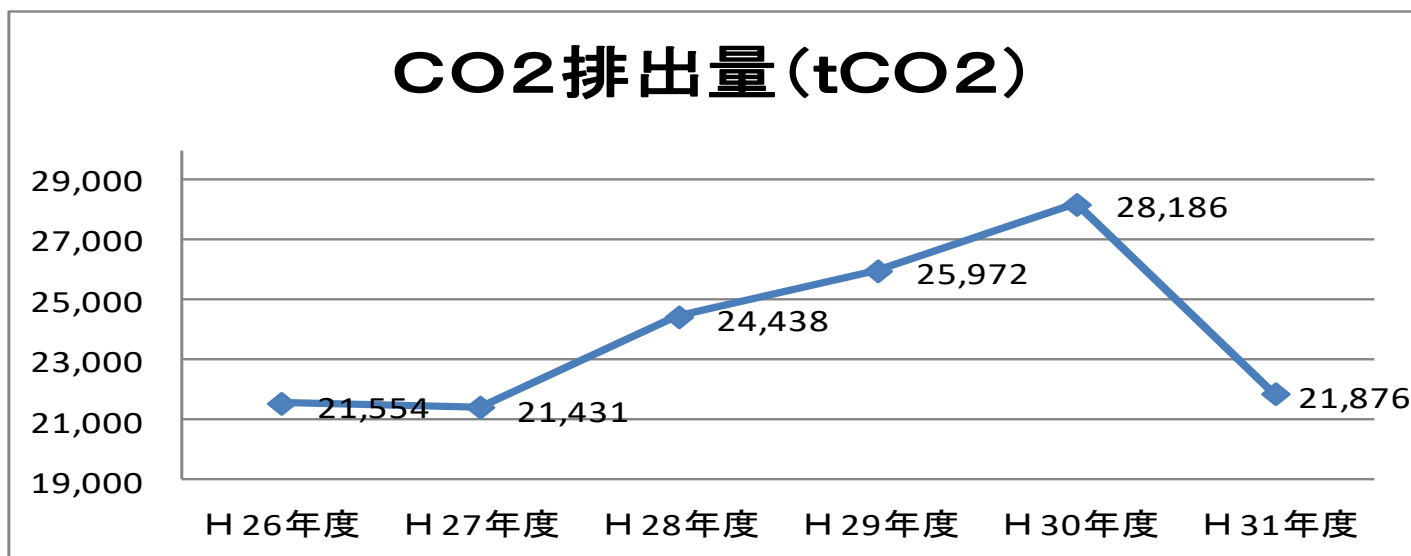
CO₂排出量を削減する為には

- ・可燃ごみの削減
- ・プラ混入率の低減

H26年度～H30年度の排出量は見直している。

（流山市環境白書の値と多少差がある）

年間CO₂排出量（t-CO₂）の推移



CO₂排出量はH27年度から年々上昇していたが、H31年度は減少した。
その要因は、ゴミ焼却量とプラ混入率の低減による。

